

# EMによる水質浄化の紹介

発表者

石川三剛

(岩手県盛岡市)

## EM(有用微生物群)による 水質浄化後の千原池の経時的変化について



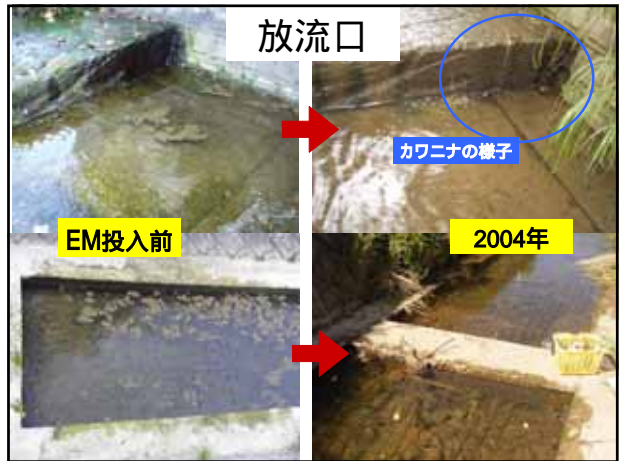
### 千原池を橋の上から見た様子

2005年8月

2005年11月



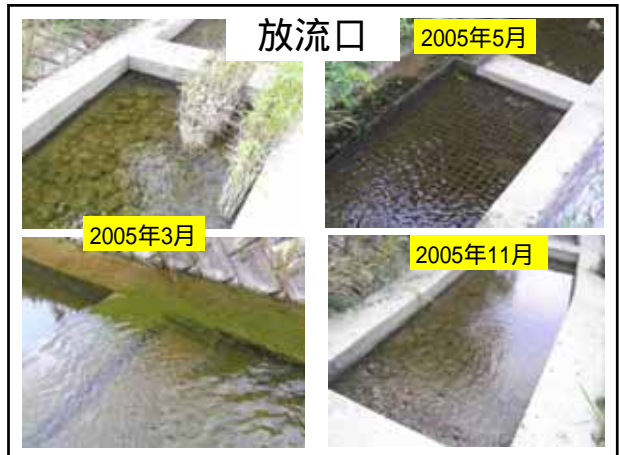
### 放流口

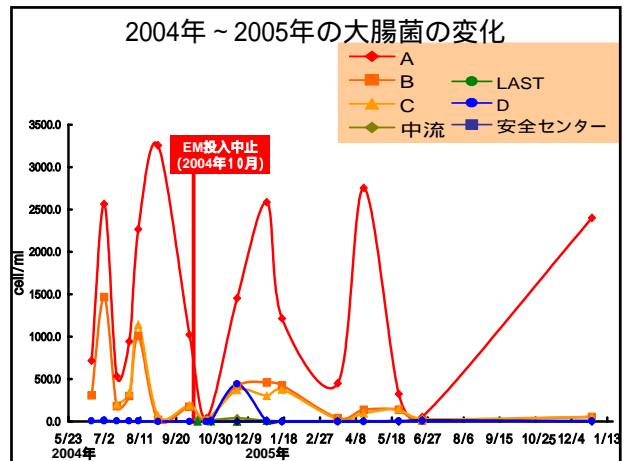
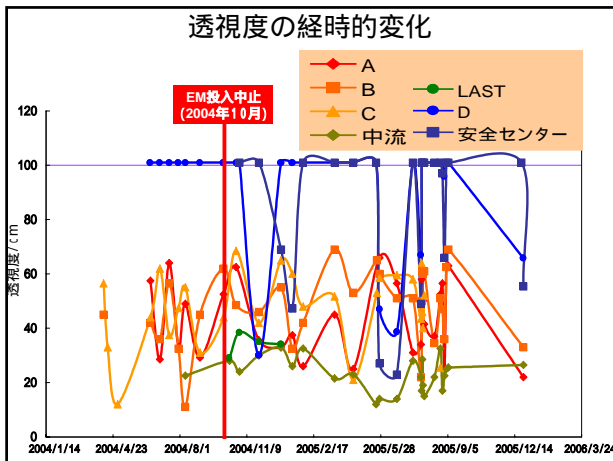


### 放流口におけるカワニナの様子



### 放流口





### まとめ

- ・ EMの投入を中止してから1年3ヶ月後においても、EM投入中止時と同等の浄化能力が干原池で維持されていることが確認された。
- ・ 納豆菌を培養して、投入すると汚れが凝固し、底に沈んだために透明になった。

## 総括

家庭からの生活雑排水が流れ込む河川に、ため池を作り、EMで処理することで、有機物の分解が促進され、窒素やリンの値も下がる。そのため池の水は農業用水として使用できる。また、大腸菌群が抑制されるため飲料水の源水にも使用でき、池の周りは親水公園としての役割が期待される。

このように、EMの技術を使うと従来のコストの高い下水処理場が不必要だと結論された。

ご静聴ありがとうございました